

コラボが楽しい

JAZZ LIVE

ハクエイ・キム with TAP Dance!

2.4 ²⁰²⁴ **SUN**

蕨市立文化ホールくるる

開演14:00 (開場13:30)

全席指定 3,000円
ペア席 2名 5,000円

未就学児の入場はご遠慮ください。

【演奏予定曲目】

Waltzing Matilda
Take Five
I fall in love too easily ほか

※曲目、曲順は変更する場合がございます。

ハクエイ・キム(ピアノ)



宇川 彩子(タップダンサー)



藤井 舞香(ダンサー)



安力川 大樹(ベーシスト)

12/2

10時より
チケット発売

【取扱い】

くるる・市民会館窓口

蕨市立文化ホールくるる 電話048-446-8311蕨駅西口より5分、線路沿い。駐車場はございません。

主催/蕨市立文化ホールくるる 共催/蕨市・蕨市教育委員会 企画・制作/(有)プランナーズルームテイクワン

取り扱い;くるる窓口 048-446-8311・蕨市民会館 048-445-7660【銀行振込・郵便振替可】

お問合せ;蕨市立文化ホールくるる 048-446-8311 HP;<http://warabi-fmpc.or.jp/kururu/>

PROFILE

ハクエイ・キム (Hakuei Kim)

1975年京都市に生まれ札幌市で育つ。韓日クォーター。5歳からピアノを始める。オーストラリア、シドニー大学音楽院(ジャズ科ピアノ専攻)卒業。2005年、DIWより「Open the Green Door」でデビュー。その後、同レーベルより3枚のアルバムをリリース。2011年、ユニバーサルミュージックよりアルバム『Trisonique』でメジャー・デビュー。2012年、ソロ・ピアノ・アルバム『Break the Ice』、DVD『Solo Concerts』リリース。2013年、アルバム『A Borderless Hour』リリース。2019年、フランスを代表するパーカッション奏者、グザヴィエ・デサンドル・ナヴァルとのパリ公演を収めた最新作『Conversations in Paris』を発表。これまでに、札幌シティ・ジャズ・フェスティバル、香港インターナショナル・ジャズ・フェスティバル、韓国・光州ワールド・ミュージック・フェスティバル等に出演。2016年にはトライソニックで米国デトロイト・インターナショナル・ジャズ・フェスティバルに出演。現地オーディエンスやメディアから高評価を受ける。2018年には初のヨーロッパツアーを敢行し、フランス、イタリア、ドイツでの公演を成功させた。その他の活動としては、TV東京全国ネット『美の巨人たち』のエンディング・テーマや日韓合作映画『道〜白磁の人〜』(高橋伴明監督作品)のエンディング・テーマの作曲、TV朝日系列全国ネット『越路吹雪物語』で大地真央が歌う主題歌の編曲、クリスタル・ケイ、新妻聖子、綾戸智恵、平賀マリカ、平方元基、川島ケイジ(敬称略)等のレコーディングや編曲、コンサートでの音楽監督等がある。現在、国内外を問わず活動中。



宇川 彩子 (Ayako Ukawa)

東京都出身。10歳からタップを始める。加藤邦保氏に師事。1993年よりJAM TAP DANCE COMPANY公演に参加。TAPの巨匠 Jimmy Slydeとの共演で、彼の踊りに魅了され、Improvisation Tap (Jazzとの即興演奏)に目覚め、ジャズの世界へ足を踏み入れる。2000年、キングレコードよりCD「The TAP」をリリース。タップダンサーという名のジャズミュージシャンとして、日本各地のジャズクラブでライブ活動を精力的に行う。2003年、m-squareレーベルライブDVD&CD「鈴木良雄 イーストバウンス+1、宇川彩子」をリリース。日野皓正、日野元彦、鈴木良雄、本田竹広など、日本を代表するジャズミュージシャンと共演。日本では珍しい、女性ジャズタップダンサーとして活躍。2003年からは、より広い音楽活動を展開。舞う人と弦を奏でる2人のトリオ「舞弦 mugen」(2019-) 高木潤一(guitar) 吉野弘志(bass) 宇川(tap dance)など、数々の音楽ユニットを手掛け、全国でライブ活動を展開。2006年より、パリ在住の世界的ジャズタップダンサー Sarah Petronioに師事したことをきっかけに活躍の場を世界へと広げる。2022年5月、デュッセルドルフで開催されたタップフェスティバル「Tap Dance Days」、2023年6月にオースティンで開催されたタップフェスティバル「Soul 2 Sole」にて上演されたSarah Petronioトリビュート作品「It's about time.」に出演。Sarah Petronioのスタイルを受け継ぐ後継者のひとりとして、国際的に注目されるタップダンサーである。



安カ川 大樹 (Daiki Yasukagawa)

1967年 葛飾区生まれ、西宮市出身。学生時代よりプロ活動開始。明治大学卒業後、ジョージ大塚、故日野元彦ユニット等に参加。2002年 EWEより2枚の初リーダーアルバムを発表。2004年 NHK夢音楽館に小曽根真氏とデュオで出演。2020年より山野ビッグバンドコンテスト審査員。現在、ニューヨーク、パリ、台北等のアーティストとの共同制作、後進の指導、発掘に力を入れ、レッスン生から第一線で活躍するアーティストを輩出している。新宿ピットイン、横浜ドルフィーを中心にライブ、レコーディングで活動中。



藤井 舞香 (Maika Fujii)

お茶の水女子大学舞踊科 卒業以来、コンテンポラリーダンサーとして活動中。近年ではピアニスト フランチェスコ・トリスターノと東京芸術劇場での共演や、辻本知彦振付の大河ドラマオープニングや MISIAレコード大賞などに出演。また、自身でもoggi dance projectとして、ダンスを軸とした総合芸術作品の制作を行っている。



○チケット販売の際に、氏名・緊急連絡先のご提供をお願いいたします。○演奏中も左右の扉を開けて換気しております。○発熱、風邪症状のある方はご入場できません。○入場前の混雑を避けるため、開場時刻以降のご来館にご協力ください。



蕨市立文化ホールくるる

〒335-0004 埼玉県蕨市中央1-23-8
TEL:048-446-8311
JR上野駅より25分 JR池袋駅より22分
JR大宮駅より15分
蕨駅西口より 徒歩5分 駐車場はございません

HP ; <http://warabi-fmpc.or.jp/kururu/>

※通行止めの場合は迂回路をご利用ください。